



自然探究科・国際探究科に関する Q&A

Q1 「探究科」と「普通科」の違いは何ですか？

A 探究科、普通科ともに、ベースとなる教科学習にしっかりと取り組みます。

探究科は探究的な学びをより積極的に行う学科です。自ら課題を設定し、研究する探究活動や、フィールドワークや海外研修等の体験学習を行います。教科学習においても、すべての教科で質の高い授業を行います。特に理数・英語においては、専門的な科目を学習し、より高度な学習を展開します。

探究科では、SGU 大学(日本国外の大学との連携などを通じて、徹底した国際化を進めて、世界レベルの教育研究を行う大学)等へ進学し、その後、社会で幅広く活躍する人材の育成を目標としています。

Q2 2年次から「自然探究科」と「国際探究科」に分かれますが、希望通りになりますか？

A 探究科の定員は、2学科くり募集の80名です。1年次は共通課程で学ぶため、入学時に自然探究科か国際探究科を選択する必要はありません。2年次から自らの興味関心・適性、進路希望を見極めながらどちらかの学科を選択します。3者面談を行い、1年次後半までに決定します。

Q2.1 では、人数に偏りがあった場合はどうするのですか？

A Q2のように、学科選択では、本人の希望を最優先とします。きちんと40名・40名で二つの学科に分かれるとは限りませんので、人数に偏りがあったときは、文理混合のクラス、授業は3講座編成といった対応を考えています。

Q3 将来、医師になるため、国公立大学の医学部を志望しています。そのような進路実現はできますか？

A 医学に興味があり、将来、医療に携わることについて明確な目的意識が必要とされるとともに、大学入学後、多くの知識を身につけ課題解決に向きあうなど探究的な学習力や創造する力等が必要とされます。

自然探究科では、探究的な学びを通して学習意欲やコミュニケーション力を喚起し、各教科の学力とともに専門的な理数の力を一層のばすことが可能となり、将来への礎を築くことができます。また、信州大学医学部医学科での研修を計画していますので実際の医療について体験し、医師として医療に携わるという明確な目的意識の醸成にもつながります。

また、長野内の高校に限られますが、本校からも信州大学医学部医学科への地域枠による推薦(6名過年度卒を含む)が可能です。

Q4 探究科の生徒は、部活動などに制限はありますか？

A 探究科は普通科に比べて週に1時間分、授業が多くなります(週に1日だけ普通科よりも授業終了時間が長くなります)が、部活動に参加することに大きな支障はないと考えています。

部活動以外にも本校の特色である生徒会活動、学校行事などに積極的に取り組み、有意義な学校生活を送ろうとする生徒を求めます。

Q5 探究的な学習に多くの時間が割かれ、教科学習に影響はありませんか？

A 現行のセンター試験に代わる大学入学共通テスト（仮称）が、平成 32 年度の入試（現在の中学 3 年生の生徒が受ける大学入試）から導入される予定です。各大学の入試でも、これまでの知識だけではなく、知識を活用して、大学における学修や社会生活において必要となる問題発見・課題の解決、すなわち、主体性を持って多様な人と協働しながら、問題を発見し、その解決策をまとめ、実行するために必要な思考力・判断力・表現力を重点的に評価することが検討されています。

探究科は、発展的な探究型学習を通して思考力・判断力・表現力や主体性・協働的に学ぶ姿勢を育てるとともに、すべての教科で質の高い授業を行います。特に専門教科「理数」「英語」で、より高い学力を養成します。これからの進学等に適した学科となります。

Q6 普通科は探究学習に取り組まないのですか？

A 平成 34 年度から実施される次期学習指導要領では、探究活動の一層の充実を目指した教科・科目構成と位置づけとなり、数学と理科の知識・技能を総合的に活用して探究的な学習を行う、新たな選択科目「理数探究」や、「総合的な学習の時間」を「総合的な探究の時間」に改称することになっています。本校は昨年度、探究的な学びの一環として「信州学」に 1 学年全体で取り組み、生徒の政策提案は、平成 28 年度内閣府主催の政策アイデアコンテストで全国最優秀賞を受賞しました。普通科においても引き続き信州学を通じた探究学習を取り組みますが、探究科はさらに、フィールドワーク、大学・自治体との連携、ゼミ形式の学習など多様な学習を通して、探究的な学びをさらに深める学科となります。

Q7 現行の「英語科」と「国際探究科」の違いは何ですか？

A 「国際探究科」は、1 年次では「自然探究科」と共通の科目を学習するので、特に英語における専門科目の時間数で、現行の「英語科」の教育課程と異なります。

本校「英語科」には 20 年以上の歴史があり、「国際探究科」の学習について、これまでの英語科の成果も十分に生かしていきます。

Q8 フィールドワーク・海外研修などの経費はどのくらいかかりますか？

A 探究科では海外研修の他に、国内研修として大学・企業研修等を考えています。

現時点で、海外研修は英語科のノウハウを生かして、オーストラリア・アメリカ等の英語を公用語とする国を考えています。内容も大学・企業研修等を予定しており、国際情勢にもよりますが 25～30 万円程度の経費を考えています。また、国内研修も予定しております。

その他、探究科の生徒には英語において、大学入試で活用が検討されている民間の英語の資格・検定試験に積極的にチャレンジさせたいと考えております。それらの試験に関しては、試験毎に別途経費がかかります。

※その他不明な点は遠慮なくお問い合わせください。

長野県松本県ヶ丘高等学校

校長：永原 経明

教頭：篠島 良一（担当）

電話：0263-32-1142(代)

F A X：0263-37-1074

E mail：agata-hs@pref.nagano.lg.jp